

おめでとうございます 2人の方があいついで百歳に

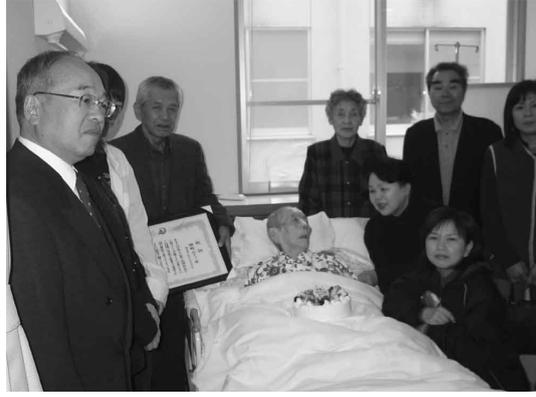


高虫たかさん

また、茶畑の高虫たかさんは、4月22日が誕生日。今年になってから少し体調がすぐれず、食事のとき以外は横になっておられることが多いとのことでした。介護施設のショートステイを利用されたこともあるそうですが、できるだけ在宅で看護したいという家族の希望もあり、4世代の家族で一緒に暮らしておられるそうです。

たかさんは若い頃から料理が上手で、一味違う料理のコツを学ぼうと、近所の人たちが習いにくるほどだったそうです。

お二人ともこれからもますますお元気で、ひ孫さんたちに囲まれ、毎日を楽しみお過ごしください。



田町ムメノさん

このほど、明治41年生まれの2人の方が満百歳を迎えられました。それぞれの誕生日には町長が訪問して、お祝いの賀詞と記念品をお贈りしました。

御来屋9区の田町ムメノさんは、漁師の網元である田町家に嫁いでこられました。夫の出征などで、若い頃はついぶん苦労をされたそうです。しかし、「子どもはたくさんほしい」という願いがかなわず、8人の子どもを生み育ててこられました。

町長が訪問した4月19日、ムメノさんは孫さんやひ孫さんなど家族や親戚の方14人に囲まれ、用意されたバースデイケーキの前での記念写真になりました。



あいさつをする森本正枝さん

しい場所なので、その大山に展示していただいて、多くの方に見ていただけるのがうれしい」と挨拶されました。

「因伯牛」は、100号というとても大きなサイズで、2頭の和牛が生き生きと描かれています。

ぜひ「因伯牛」の迫力ある姿を見に、夏山シーズンを迎えた大山へおでかけください。

「因伯牛」 絵画寄贈

和牛博覧会 in とつとりが結ぶ縁で、森本正枝さん（八頭町船岡在住）から、町に絵画「因伯牛」を寄贈していただきました。森本さんは10年以上にわたって因伯牛を描き続けておられ、作品が和牛博のPRポスターに採用されました。和牛博のPRのため、鳥取県西部総合事務所に展示されていたものを、「今後多くの方に見ていただける場所に展示していただきたい」という森本さんの申し出により、寄贈していただきました。

絵画「因伯牛」は、多くの方にご覧いただけるよう大山参道ギャラリーに展示しています。4月20日に、森本さんに出席していただき、お披露目会を行いました。当日は、寄贈の仲立ちをした鳥取県西部総合事務所の上場所長や地元住民など多くの関係者が出席し、町長からの感謝状贈呈や僧兵太鼓の演奏などが行われました。

森本さんは、「大山は何度も訪れたとても懐かしい場所なので、その大山に展示していただいて、多くの方に見ていただけるのがうれしい」と挨拶されました。